

令和 5 年度

神奈川県海外技術研修員受入事業
最終報告書

Kanagawa Prefectural Government Program
for Overseas Technical Trainees 2023
The Final Report

神奈川県／公益社団法人 青年海外協力協会

KANAGAWA PREFECTURAL GOVERNMENT,
Japan Overseas Cooperative Association (JOCA)

はじめに

FOREWORD

2023年度神奈川県海外技術研修員受入事業の修了に伴い、「海外技術研修員報告書」をまとめましたのでここに報告いたします。

この事業は、地域からの国際貢献の一環として、神奈川県が開発途上国等の人材育成を支援するため、1972年から実施している事業です。今年度は3か国（インド・タイ・ブータン）から3名の研修員を受け入れ、受入数の累計は626名になりました。研修員は来日後約1か月間の日本語研修を行った後、それぞれの専門研修先で4か月間、技術習得に努めました。

この報告書は、各研修員が専門研修で学んだことや、日本滞在中に得た体験、印象等を簡潔にまとめたものです。研修員が研修先で学んだことを活かし、母国の発展のために精いっぱい力を注いでいくことを、私たちは心から期待しております。

また、研修員たちは日本の文化を学ぶ機会として様々な県内のイベントに参加し、多くの県民の方々の温かさに接することができました。県民の皆様との交流は、研修員たちの心にいつまでも残ることでしょう。ここに深く感謝申し上げるとともに、この事業を通して築かれた交流関係が今後とも継続され、それぞれの国・地域との相互理解が深められますことを願っております。

最後に本事業の実施にご協力並びにご厚意を賜りました多くの関係者の皆様に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

2024年3月

神奈川県

公益社団法人 青年海外協力協会

With the end of Kanagawa Prefectural Government Overseas Technical Trainees Program as of 2023, we hereby publish the "Overseas Technical Trainees Report".

This program has been carried out since 1972 by Kanagawa Prefectural Government as part of activity of international contribution by regions which is in purpose of supporting the development of human resources of developing countries. For this year, we accepted 3 trainees from different countries (India, Thailand and Bhutan) of which add up to 626 in total. After arriving in Japan, the trainees underwent Japanese language training for about one month, and then spent four months at their respective specialized training institutes to acquire skills.

This report briefly includes experiences and knowledge of what each trainee had impressed acquired by the time in Japan. Please be informed that reports will only be published in Japanese and English version. We are strongly encouraged they could help developing their own countries by taking advantage of those they have acquired in training.

In addition, as an opportunity to learn Japanese culture, they have participated in a lot of activities such as prefectural events and had close communication with many friendly residents which they would never forget. Hereby, we would like to convey thanks and will for closer communication from county to regions going forward.

At last, it was much appreciated those who had help and support to this program. Thank you very much.

March, 2024

Kanagawa Prefectural Government

Japan Overseas Cooperative Association

目次

Table of contents

2023 年度 神奈川県海外技術研修員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

List of Kanagawa technical trainees 2023

研修スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

Schedule

海外技術研修員 研修報告

Technical trainees Training report

クマラスミ・ムス・シャンカール (インド)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

Mr. Kumarasamy Muthu Shankar (INDIA)

カニチャ・ウオンチャイ (タイ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

Ms. Kannicha Wongchai (THAI)

イエシ・チョデン (ブータン)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

Ms. Yeshi Choden (BHUTAN)

アルバムから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

From the photo album

2023年度 神奈川県海外技術研修員一覧

List of Kanagawa technical trainees 2023

氏名 Name	国籍 Nationality	研修先 Place of Training
クマラサミ・ムス・シャンカール	インド	横浜国立大学/横浜デザイン学院
KUMARASAMY MUTHU SHANKAR	INDIA	YOKOHAMA National University / Yokohama Design College
カニチャ・ウオンチャイ	タイ	関東学院大学
WONGCHAI KANNICHA	THAI	Kanto Gakuin University
イエシ・チョデン	ブータン	神奈川県立病院機構
CHODEN YESHI	BHUTAN	Kanagawa Prefectural Hospital Organization

研修スケジュール

Schedule

2023年9月	来日 Arrival in Japan
	オリエンテーション、区役所・銀行手続き、健康診断、二俣川駅周辺見学 Orientation, procedures at municipal office and at a bank, health checkup, field trip around Futamatagawa station
	日本語研修開始 Japanese language lessons
10月	KANAFAN交流会「Sports Festa」参加 Participated in KANAFAN Exchange Meeting "Sports Festa"
	知事表敬 Courtesy call to Kanagawa Prefectural governor
	専門研修機関との打ち合わせ Meeting at professional training organization
	日本語研修補講① Supplementary Japanese language lessons①
11月	小田原・箱根研修旅行 Training trip to Odawara and Hakone
	専門研修開始 Commencement of professional training
	日本語研修補講② Supplementary Japanese language lessons②
12月	鎌倉・江の島見学 Field trip to Kamakura and Enoshima
	あーすフェスタ参加 Participate in Earth Festa
	日本語研修補講③ Supplementary Japanese language lessons③
2024年1月	京都奈良研修旅行 Training trip to Kyoto and Nara
	初詣 Visiting Shrine on New Year day
	藍染体験 Indigo dyeing experience
2月	日本語研修補講④ Supplementary Japanese language lessons④
	日本語研修補講⑤ Supplementary Japanese language lessons⑤
3月	河津桜花見 Cherry-blossom viewing
	日本語研修補講⑥ Supplementary Japanese language lessons⑥
	修了式 Graduation ceremony at Kanagawa Prefectural Government office
	最終報告会 Final Presentation
	銀行、区役所手続き Procedures at bank and municipal office
帰国 Returning to home country	



クマラサミ・ムス・シャンカール

勤務先：タミルナドゥ・センター/インド

研修分野：日本語教授法

研修機関：横浜国立大学／横浜デザイン学院

Name：Mr. Kumarasamy Muthu Shankar

Employment：ABK AOTS DOSOKAI

Training Subject：Japanese Language Teaching Method

Place of training：Yokohama National University/Yokohama Design College

1. 専門研修の成果

- 分かりやすい日本語で教えて、学生さんの日本語に対する自信を自分から認識させること。
- 授業中、学生の皆さんの様々な意見を聞くことを重視して授業の流れを柔軟に変更する。
- 漢字を文字の形で教えるより単語の形で教えるのは一番最適な方法です。
- PPT をうまく使って、難しい文法でも分かりやすく解説すること。
- 生徒さんの実力を授業中行う活動を通じて極める。
- 学生さんの実力（できること、できないこと）に合わせて授業の流れを変更する。
- 授業中にグループ活動を出来るだけ増やすこと。
- 漢字に対して積極的に生徒さんを勉強させるために、漢字それぞれの歴史を使って解説する。
- 生徒さんに実際のものや環境のものを使って例文を作らせる。
- PPT と文法の解説をうまく合わせて教えること。
- 文法を教えるとき学生さんそれぞれの言語と日本語の違い分かち合いながら教える。
- 学生さんのできるやできないことによって教案を変更する。
- 授業中出来るだけ日本語を使うこと、英語は解説のためだけで十分。
- 生徒さんから疑問点を聞いてそれを通じて生徒それぞれの実力を把握する。
- 生徒自身の弱点を自分なりに認識させるための様々な活動を行います。
-

2. 帰国後の活動

・研修成果を現場でどう活かすか

元々、私の学校は日本語能力試験を受けるために必要な指導をするものです。レベルが関係なく授業は全部試験向けなので、退屈を感じる学生も最近多くなっている気がします。その理由は、初級から上級に上がるほど授業が楽しく無くなっているからかもしれません。レベルが上がるほど、教科書へ頼りつつあることも事実です。

なので、レベルが関係なく、授業をもっと楽しくするための方法を探してそのまま実施します。試験ということはプレッシャーを感じるのと同じです。しかし、日本語を勉強する時もそういうプレッシャーを感じながら勉強するのは良くないと思います、ですので試験向けではなく実際に使うために必要な知識を得るための授業にします。

やりたくないことを完璧にやることは出来ない。でも好きでやっていることならどこまで難しいことでも簡単にやれる。だから興味がない生徒としても興味を溢れ出せるような楽し授業を行います。

日本語を教える時言語そのものを教えるだけではなく、その言語の元になっている文化、歴史そして日本人についても必ず教えます。なぜかと言うと日本語というのはただの言語だけではなく日本に入る為のカギです。そうして日本語を勉強することで得られるメリットを認識させることが目的です。

・神奈川県や研修団体との関係をどう継続していくか

KANAFANのウェブサイトに登録します。KANAFANのスポーツ大会で様々な国の方々と交流することが出来てとても嬉しかったです。電話番号やLINE交換もしたのでこれからもお互いの国のことをお知らせしたりするつもりです。特に日本人との話し合いを楽しみにしています。

この研修のこと知らない人が結構いるので、この研修そして神奈川県についての詳細を学校と他の日本語教師にも広めることを目的にします。この研修を通じて得たことについても先生の皆さんに認識させます。

私の学校にいる前回の研修員とお互いの体験を分かち合う、そしてこれからも一緒にお互い得られた知識と共に学校の成長の為に頑張ります。

神奈川県を介绍して、学校の先生方々に私の個人的な意見を言って、日本に対しての興味を持たせます。出来るだけ活動やイベントの中でこの研修のメリットを分かち合います。



カニチャ・ウォンチャイ

勤務先：首都圏水道局/タイ

研修分野：水質検査・水質管理

研修機関：関東学院大学

Name： Ms. Kannicha Wongchai

Employment： Metropolitan Waterworks Authority (MWA)

Training Subject： Water quality inspection, Water quality control

Place of training： Kanto Gakuin University

1. 専門研修の成果

水質検査および水質管理に関する研修の結果について

- 1.1 日本のさまざまな種類の水製造方法と現代の製造システムについて学んだ。
- 1.2 下流から上流までの水管理システムに関する知識を得た。
- 1.3 水道水の水質の分析とテストを実践し、結果としてより良いテスト能力を獲得できた。
- 1.4 Jar テストを練習する必要があることがわかった。
- 1.5 マイクロプラスチックと水道水中のマイクロプラスチックの分析に関する知識を得た。
- 1.6 他の人々と協力する練習をする。語学力が上がった。

2. 帰国後の活動

・研修成果を現場でどう活かすか

このプログラムで得た知識や技術を活かして、職場のスタッフにとってより便利な検査機器の開発、例えば自動濁度測定装置の開発など、現在の業務に活かしていきます。

私の研究室では多くの濁度を分析しています。このタイプの自動機械は、スタッフの労働時間の短縮に役立つ可能性があります。そして、水質部門で発表したり、職場の知識管理システムに記事を書いたりすることで、水質検査と管理に関する知識を他の人と共有します。

・神奈川県や研修団体との関係をどう継続していくか

神奈川県の SNS をフォローして、タイの方々に神奈川県を PR していきたいと思います。

職場に対しては、オンライン会議やセミナーを通じてコミュニケーションを図り、水質ネットワークを構築します。

1. Results of the specialized training

For the results of the training in Water quality testing and Water quality management, it is

- 1.1 Learn about the many types of Japanese water production methods as well as contemporary production systems.
- 1.2 Gain knowledge about water management systems from the downstream to the upstream
- 1.3 Practice analyzing and testing tap water quality got better testing abilities as a result.
- 1.4 Got to practice doing the Jar test.
- 1.5 Gain knowledge about microplastics and analysis of microplastics in tap water
- 1.6 Practice collaborating with others people. gained skill in language

2. Activities after returning to home country

- How to utilize the training results at the workplace

I will apply the knowledge and technical skills acquired from this program to my current work such as Develop testing instruments that are more convenient for member staff, example automatic turbidity measurement devices. My laboratory analyzes a lot of turbidity. This type of automatic machine might be able to assist staff members in reducing their working hours.

And I will share knowledge about water quality testing and management with others by presenting in the water quality department, writing articles in the MWA's knowledge management system

- How to continue relations with Kanagawa Prefectural Government and the training organization

I will follow the Kanagawa government's social media and will promote Kanagawa Prefecture to people in Thailand. And for organizations that can communicate through online meetings and seminars, and do water quality network.



イエシ・チョデン

勤務先：ジグメ・ドルジ・ワンチュク国立総合病院

研修分野：看護 看護教育・管理

研修機関：神奈川県立病院機構

Name : Ms. Yeschi Choden

Employment : Jigme Dorji Wangchuck National Referral Hospital

Training Subject : Nursing, Nursing education/management

Place of training : Kanagawa Prefectural Hospital Organization

1. 専門研修の成果

日本は私にとって、医療や介護の先端技術を学ぶために行く場所でした。この研修は私にとって有意義なものでした。神奈川県内のさまざまな種類の医療センターを訪問する機会を得た包括的な研修でした。

私は、神奈川県立こども医療センターと神奈川県立がんセンターで研修を行いました。看護師がペアになって患者のニーズに応え、共に教育するパートナーシップ看護システム（PNS）について学びました。スタッフの患者さんとのコミュニケーションの取り方や、看護師の姿勢に感銘を受けました。逆に、スタッフがどのように穏やかに話し、患者が処置のたびに感謝しているか、スタッフが写真や図を使って患者に自分の状態をどのように理解させているか、スタッフが癌の末期疾患の患者にどのようにカウンセリングしているかを学びました。

感染症対策や廃棄物管理についても学びました。手術支援ロボット「ダヴィンチ」や「i-Rock」を初めて見る機会があり、とても感動しました。

このプログラムは専門研修だけでなく、日本語、茶道、お正月、日本料理など日本の文化や伝統について学ぶ機会もあり、有意義な研修期間でした。

2. 帰国後の活動

- ・ 研修成果を現場でどう活かすか
- ・ 神奈川県や研修団体との関係をどう継続していくか

スタッフの負担を軽減し、患者さんに効果的なケアを提供できるよう、病棟にPNSを取り入れたいと思っています。ダブルチェックの方法や感染予防にもっと重点を置きたいです。患者さんとのコミュニケーションスキルを向上させたいです。

日本は美しく、住むのに安全な場所です。多くの人々や私の友人たちにとって、日本は常に来て働く夢の土地でした。なので、私は友人たちに横浜を訪れて文化や観光することを勧めたいと思います。

今回の研修機関との関係を継続していきたいと考えています。

最後に、私はより多くのチャンスを楽しみにしており、将来は神奈川県で働きたいと思っています。

1. Results of the specialized training

Japan has always been my go to place to explore and learn about advanced technology in terms of medicine and nursing care. This training was a blessing to me .It was a comprehensive training in which I got the opportunity to visit different types of centers under kanagawa.

I was placed in Kanagawa children's medical center and kanagawa cancer center. I learned about the partnership nursing system [PNS] where nurses worked in pairs to cater patient's needs and educate themselves together. I was impressed by how the staffs communicate with the patients and vice versa; how soft the staffs talk and patients thanking them in every procedure they perform, how staffs make patient understand their condition using photos and diagram and how staffs counsell the patients with terminal illness [cancer].

I learned about infection control and waste management. I got an opportunity to see Da vinci robot assisting surgery and i-Rock for the first time and it was very much impressive.

This programme is not just limited to technical training but also I got an opportunity to learn about japanese culture and tradition such as japanese language tea ceremony new year celebration and japanese dishes. All in all, I had very much fun living here.

2. Activities after returning to home country

- How to utilize the training results at the workplace
- How to continue relations with Kanagawa Prefectural Government and the training organization

I want to incorporate PNS in my unit which will help in reducing the workload of the staff and to provide effective care to the patients, double check method and more emphasis on infection control. I want to improve communication skills with the patients.

Japan is a beautiful and the safest place to live and explore. It has always been a dream land to come and work for many people and my friends. So I would like to recommend my friends to visit Yokohama and explore the culture and sightseeing. I would continue my relations with training organization through writing yearly reports on changes I am going to make in my country. Lastly I would be looking forward to many more opportunities and would love to work in kanagawa in the future.

アルバムから

From the photo album

日本語研修・日本文化体験

Japanese Language Lesson・Japanese culture experience



県民との交流（あーすフェスタ・Sports festa）

Exchange meeting with Kanagawa prefectural residents (Earth Festa/Sports festa)



研修旅行

Training trip



日常生活から

Daily life



修了式・最終報告会

Graduation ceremony and final presentation



編集 公益社団法人 青年海外協力協会

住所：神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1あーすぷらざ内

TEL：045-392-8837

発行 神奈川県（2024年3月）

Edited by Japan Overseas Cooperative Association

Address：1-2-1Kosugaya-sakaeku Yokohama-shi

Kanagawa JAPAN

TEL：045-392-8837

Published by Kanagawa Prefectural Government, March 2024